

第 24 期・第 1 回 数理科学委員会 数学教育分科会 議事要旨

日時：平成 30 年 2 月 12 日（月）13:05~14:45

場所：お茶の水女子大学本館 1 階カンファレンスルーム 135 室

出席者：今井桂子、小林みどり、小山正孝、高橋哲也、竹村彰通、椿広計、平田典子、藤井齊亮、真島秀行、森田康夫（世話人）、矢部敏昭、山口佳三、美添泰人、渡辺美智子

欠席者：伊藤由佳理（以上敬称略）

議事

世話人である森田委員が司会を務めて分科会を開いたが、真島委員が途中で退席する予定であったため、議事の順序を変更して役員と ICMI の委員の選考を先に行った。

(1) 分科会の役員と ICMI の委員の決定

数理科学委員会の設置目的を確認した上で、出席した委員が自己紹介を行った。

その後、懸案となっている ICMI の委員について推薦を求め、議論の結果、小山委員を ICMI の委員とすることを決めた。ICMI には前任の藤井委員から日本代表委員の交代を伝えることとした。

次に、世話人から分科会の委員長について推薦を求め、真島委員を数学教育分科会の委員長とすることを決めた。

さらに、真島委員長の意見を参考にしながら議論を行った結果、副委員長に藤井委員、幹事に小山委員と渡辺委員を選んだ。

なお、真島委員長が途中で退席する見込みであったため、委員長決定後も世話人が司会を続けることとした。

(2) 前期からの引き継ぎと今期の活動方針について

前期からの申し送り事項を確認した後、どのような活動を行うべきかについて議論を行った。今期の活動方針については、分科会の役員に取りまとめをお願いすることにした。

(3) 小学校・中学校・高等学校の新指導要領について

文部科学省は小学校と中学校の指導要領を既に告知している。これに対して、高等学校の指導要領は近くパブリックコメントを経て、告知される見込みとなっている。そこで、高等学校の統計教育をどうすべきかなどについて、意見を交換した。また、大学入学共通テスト（新テスト）についても意見を交換した。

(4) その他

次回の会議については、日程調整の上で行うことにした。

以上